

2023年8月1日南日本新聞15面

女性経営者奮闘記 vol.6

医療法人明正会グループ
今林整形外科病院 理事

今林 恵美

今回が最終回です。この連載を通して皆さまにお伝えしたかった事は三つあります。

一つ目は『私のフィールドはいつも世界』

世界で仕事をしてグローバルな視野で見えてきた中で、日本の医療や医師は世界に誇れる財産だと気付きました。まして首都圏の病床不足が刻々と迫る中、質の高い地方の医療に世界の目が向く日もそう遠くない未来なのです。

二つ目は『指宿市は数々の宝の眠る場所』

温暖な気候、豊富な温泉や砂むし風呂、地熱が育む農作物、世界遺産の屋久島まで70分の好立地など、指宿市は理想的なリゾート地であり療養天国なのです。リモートワークによる二拠点生活が広がりを見せ、温泉文化のインバウンド需要も増加する中、流行は繰り返すかつてハネムーンのメッカであった指宿市の再ブームを予測します。海沿いの私有地を活用する案も計画中です。

広告

過去と他人は変えられない
変えられるのは自分と未来だけ

最後は『女性の社会進出』
地方ではまだまだ少ない女性起業家や女性経営者。政府による女性役員3割目標も発表されましたが、この先がけになれたらと考えます。女性活躍のため、有休取得、産休・育休制度、幼児からの英語教育、いつでも輝くママ達の美容皮膚科など職場環境を整えています。振り返れば七転び八起き

の人生「為せば成る為さねば成らぬ何事も」の精神で努力を続けてきました。先見の明を持つ開拓者であった祖父の「まちづくりの理念」を受け継ぎ、明正会創設者である義父の『前へ前へ進め』も後押ししてくれています。

この連載で「勇気付けられた」「励まされた」など、読者の方々からお声をいただき、沢山の皆さまと繋がる事もできました。

『その全てに感謝し少しでも人のために...』

|| おわり ||

(いまやし・えみ)新卒で森ビル株式会社就職後、シンガポール航空、トルコ航空で外資系客室乗務員として勤務する傍ら、オーストリア航空の教官や自身で様々な会社を起業する。常に2足3足のわらじを履き20代から経営に魅了され注力した半生である。自著『幸せぐせを身に付ける7つのマインド マスルトレーニング』がある



今林整形外科病院

指宿市十町352-2 ☎0993-22-2710

今林整形外科病院